



平成25年4月17日（水）
利根川水系渇水対策連絡協議会
（事務局：関東地方整備局）

記者発表資料

平成25年度
第1回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会
（春季定例会）の開催結果について

『利根川上流ダム群の貯水量は平年を上回る』
利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会春季定例会開催される

- 開催状況 日時：平成25年4月16日（火）14:00～15:00
場所：さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 災害対策本部室
協議会構成：国土交通省関東地方整備局、経済産業省関東経済産業局、
農林水産省関東農政局、東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、
群馬県、栃木県、独立行政法人水資源機構
協議会の目的：利根川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。
- 現状と今後の見通し（詳細は、別添概要書参照）
 - ダムの貯水状況 利根川上流8ダムでは平年を上回る貯水量
(3億6,858万 m^3)
鬼怒川上流4ダムでは平年を上回る貯水量
(1億9,123万 m^3)
 - 積雪の状況 奈良俣ダム地点の積雪深は、平年を下回る0cm
(平年比0%)
尾瀬沼地点の積雪深は、平年を下回る148cm
(平年比73%)
 - 今後の見通し 今後は水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、利根川上流8ダムの貯水量が不足することも想定されます。
- 今後の対策（詳細は、別添概要書参照）
 - ダム等水資源開発施設については、きめ細かな水運用を行っていく。
 - 必要に応じて、節水協力の要請と取水制限等の機動的な対応を行っていく。

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ

問い合わせ先

国土交通省	河川部水政課	住所	〒330-9724
関東地方整備局	水政調整官 小池 勇 (内線) 3515		埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
	水政課長 澤田 晋 (内線) 3551		さいたま新都心合同庁舎2号館
	建設専門官 一條 勝志 (内線) 3557	電話(代表)	048-601-3151
	河川部河川環境課		(水政課夜間直通) 048-600-1334
河川環境課長	徳道 修二 (内線) 3651		(河川環境課夜間直通) 048-600-1336
建設専門官	棚澤 義一 (内線) 3652		

平成25年度第1回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会 (春季定例会)の開催結果について(概要)

1. ダムの貯水状況・積雪状況と今後の見通し

首都圏の水ガメである利根川上流8ダムと鬼怒川上流4ダムの4月15日時点の貯水量は、表のとおりであり、利根川上流8ダム、鬼怒川上流4ダムともに平年を上回る状況です。

	貯水量(貯水率)	平年比	備 考
利根川上流8ダム (4月15日0時)	3億6,858万m ³ (80%)	115%	平年を上回る (H4~H24平均)
鬼怒川上流4ダム (4月15日0時)	1億9,123万m ³ (76%)	120%	平年を上回る (S60~H24平均)

今冬の利根川上流域の積雪状況は表のとおりです。

	積雪深 (平年比)	累加降雪量	備 考
奈良俣ダム地点 (4月15日9時)	0cm (0%)	1,003cm (参考値)	積雪深は平年を下回る (H4~H24の4月第3半旬末平均値)
尾瀬沼地点 (4月15日9時)	148cm (73%)	1,681cm	積雪深は平年を下回る (S30~H24の4月第3半旬末平均値)

※奈良俣ダムの累加降雪量については、H25年1月以降、土日祝日の観測を中止したため参考値

平成25年1月から3月までの降水量は表のとおりです。

	累加降水量	平年比	備 考
利根川栗橋上流域 (1月から3月まで)	101mm	約64%	平年を下回る (S23~H24平均)
鬼怒川佐貫上流域 (1月から3月まで)	94mm	約54%	平年を下回る (S47~H24平均)

利根川上流5ダム(矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、藺原)は、毎年4月から5月にかけて、融雪水により貯水量を大きく回復する時期となっており、例年では4月中旬から5月にほぼ満水となります。現在、融雪水等の貯留に努めており、平年並みのダム流入量であれば、5ダムにおいては満水まで回復が予想されます。融雪水の少ない下久保ダムにおいては、下流の河川の必要量を確保しつつ、極力貯留に努めます。

しかし、今後は水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、利根川上流8ダムの貯水量が不足することも想定されます。

鬼怒川上流4ダムの貯水量は平年を上回る貯水量となっており、今後下流の農業用水等水需要に対して必要な水量を確保するためダムからの補給を行ってまいります。降雨状況によっては、貯水量が不足することも考えられます。

2. 今後の対策

①今後、本年の利根川上流域の積雪状況や降雨、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮して、既存施設等を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行ってまいります。

このため、上流ダム群の貯水量の状況や融雪状況等の情報提供を引き続き行ってまいります。

②利根川水系渇水対策連絡協議会としては、首都圏の水需要をかんがみ、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的な対応を行ってまいります。

※ ダムの貯水量及び貯水率の情報を、電話応答サービスにより、リアルタイムに提供しています。どうぞご利用下さい。

・ 利根川上流8ダム	電話番号 027-255-5692
・ 五十里ダム	電話番号 0288-78-0440
・ 川治ダム	電話番号 0288-78-0908
・ 川俣ダム	電話番号 0288-96-0288
・ 二瀬ダム	電話番号 0494-55-0116

※ ホームページでもダムの情報をお届けしています。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/river/shihon/index00000010.html>

(首都圏の水資源状況について)

平成25年度第1回利根川水系渇水対策
連絡協議会幹事会（春季定例会）資料

利根川上流ダム群等の現況と今後の対策について



矢木沢ダム(平成25年4月15日撮影)

平成25年4月16日

関東地方整備局

1. 利根川上流ダム群等の現況

1) 利根川水系

(1) 降水量

平成24年の利根川栗橋上流域の降水量は、3月、5月を除き、7月まではほぼ平年並みまたは平年を上回る降水量となっていました。8月は(87mm、平年比42%)平年を大きく下回り、9月も18日までは(77mm、9月1ヶ月間の平均値に対し36%)少ない状況となりました。特に、8月は昭和23年から平成24年の65年間で4番目に少ない月となりました。

平成25年に入り、1月、2月はほぼ平年並、3月は平年を下回る降水量(20mm、平年比30%)となっています。

4月の月降水量は、14日までに97mmとなっています。(図-1、表-1参照)

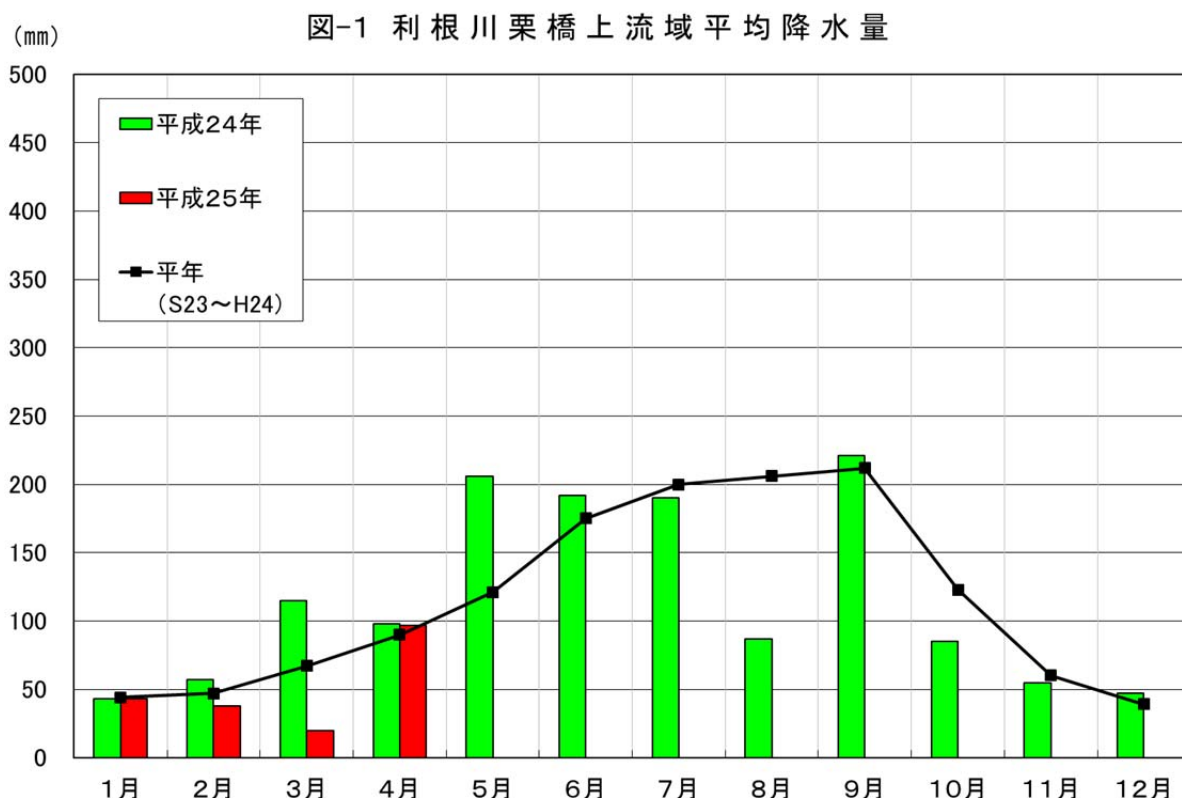


表-1 利根川栗橋上流域平均降水量

単位 (mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘 要
昭和62年	22	33	62	14	89	91	204	186	252	73	39	26	1,091	利根川夏渇水
平成2年	31	66	71	119	58	74	118	193	326	143	183	31	1,413	"
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143	"
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999	利根川冬夏渇水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1,222	利根川冬渇水
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569	利根川夏渇水
平成24年	43	57	115	98	206	192	190	87	221	85	55	47	1,395	"
平年 (S23~H24)	44	47	67	90	121	175	200	206	212	123	60	39	1,383	
平成25年	43	38	20	97									197	
平年比 (%)	98	80	30	107									14	

平成25年4月14日まで

※. 利根川取水制限実施月 (一時緩和含む)

※. 各月の降水量は端数処理 (小数点第一位を四捨五入) した値

※. 栗橋上流域面積 8,588 km²

(2) 奈良俣ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪状況

奈良俣ダム地点は12月中旬頃に平年を大きく上回る積雪深となりました。その後も3月上旬まで平年並または平年を上回る積雪深となっていました。3月中旬以降は、平年を下回る状況となっています。また、尾瀬沼地点は、12月中旬に平年を上回る積雪深となりましたが、その後1月から2月下旬まで平年並の積雪深となり、3月以降は、平年を下回る状況となっています。

今期の最大積雪深は奈良俣ダム地点で236cm(2月25日)、尾瀬沼地点で267cm(2月25日)となっています。平成25年4月15日9時現在の奈良俣ダム地点の積雪深は0cm(平年の0%)、尾瀬沼地点では平成25年4月15日9時現在、148cm(平年の73%)となっています。

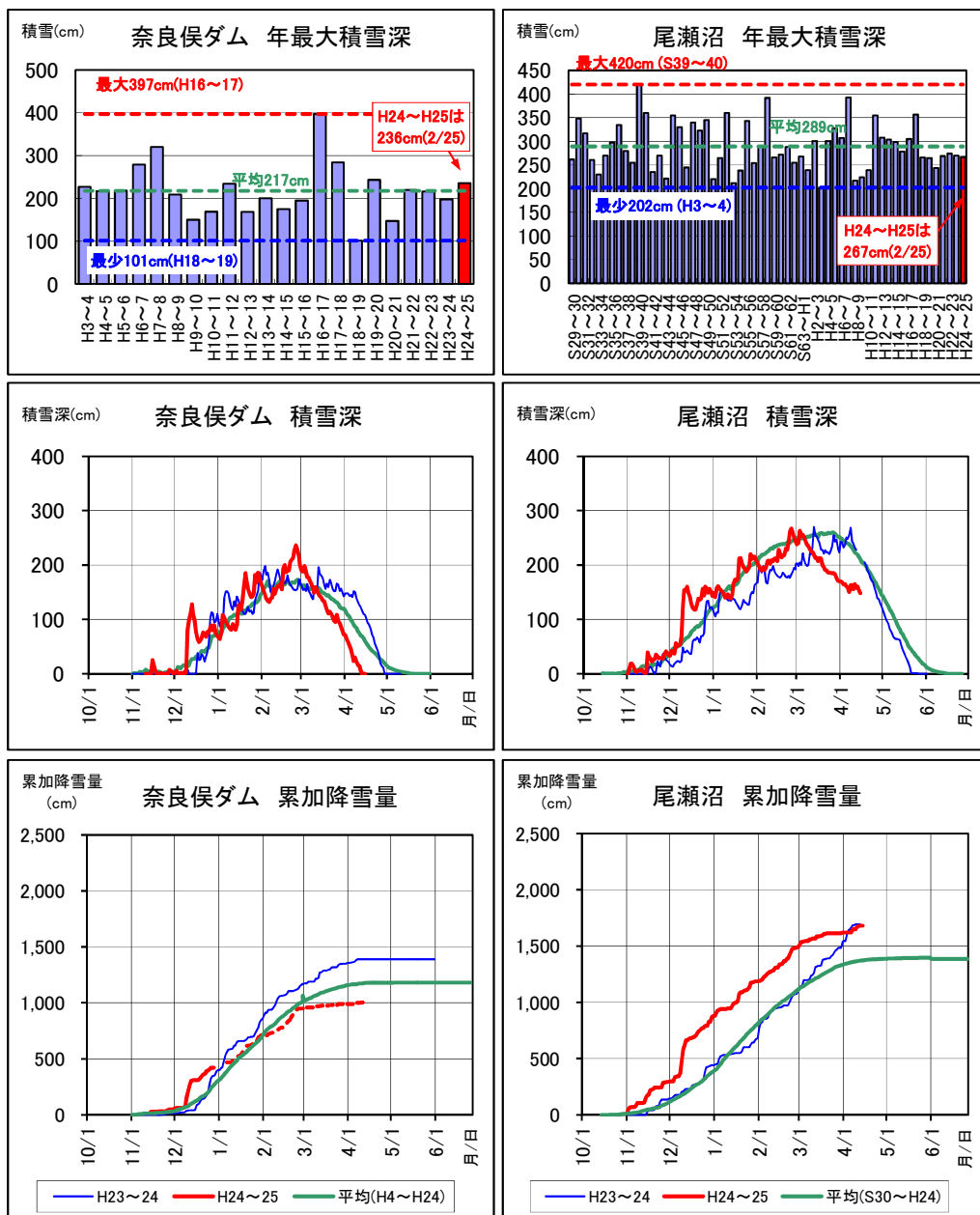
(表-2、図-2参照)

表-2 奈良俣ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深・累加降雪量図

観測所名	時 点	日降雪量	積雪深	今期最大積雪	累加降雪量
奈良俣 ダム地点	平成25年4月15日9時現在	0cm	0cm	236cm(2月25日)	1,003cm※
	H4～H24の4月第3半旬末平均値		59cm		1,188cm
尾瀬沼 地点	平成25年4月15日9時現在	0cm	148cm	267cm(2月25日)	1,681cm
	S30～H24の4月第3半旬末平均値		204cm		1,368cm

※奈良俣ダムの累加降雪量については、H25年1月以降、土日祝日の観測を中止したため参考値

図-2 奈良俣ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深・累加降雪量図



平成25年4月15日9時現在 ※過去のデータは半旬末の値

※H23～24年の尾瀬沼の累加降雪量については、4月12日以降欠測のため4月12日現在を表示

(3) 各観測所の積雪深の状況

奥利根流域の積雪深は、悪沢を除き平年を下回っております。

(図-3、図-4参照)

図-3 積雪観測所位置図

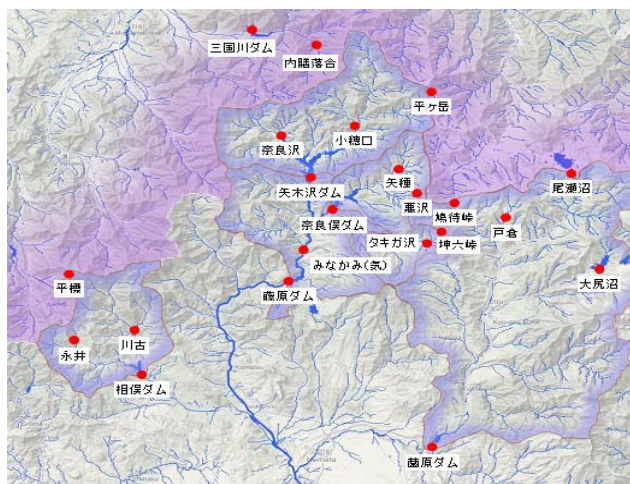
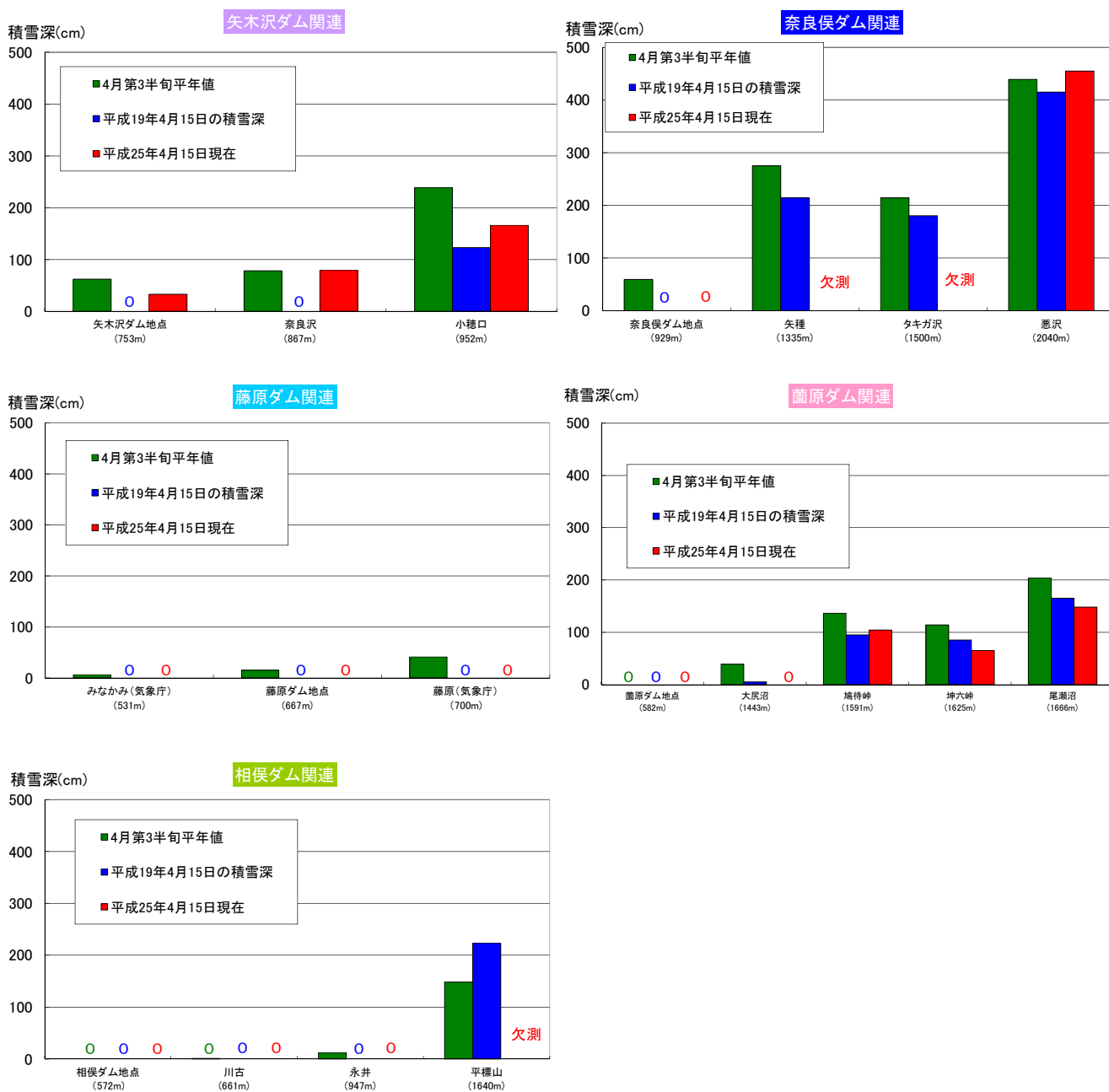


図-4 各観測所の積雪深状況



平成25年4月15日現在

(4) 利根川上流ダム群の貯水状況

利根川上流ダム群の貯水状況は、平成24年5月18日に発生した水質事故に対応するためダムからの放流を実施しましたが、その後貯水量は回復し、7月1日には夏期制限容量に対して100%の貯水率となり貯水量を維持しました。

しかし、7月後半からの少雨等の影響から、8月には貯水量が低下し、最大時には日量約1,000万 m^3 もの補給を実施し、利根川の流況(栗橋地点+利根大堰取水量)の約3割をダムの補給で補いました。

また、江戸川における必要量を確保するため、北千葉導水路等で8月22日から9月18日のうち17日間で約1,500万 m^3 の導水を実施しました。

渡良瀬川では、草木ダムも同様に7月の後半から補給を実施し、8月には貯水量が約800万 m^3 (貯水率26%)まで低下しました。

平成25年4月15日0時現在の貯水量は、3億6,858万 m^3 (常時満水容量4億6,163万 m^3 に対して80%、平年の貯水量3億2,004万 m^3 に対して115%)と、平年を上回っています。(表-3、図-5参照)

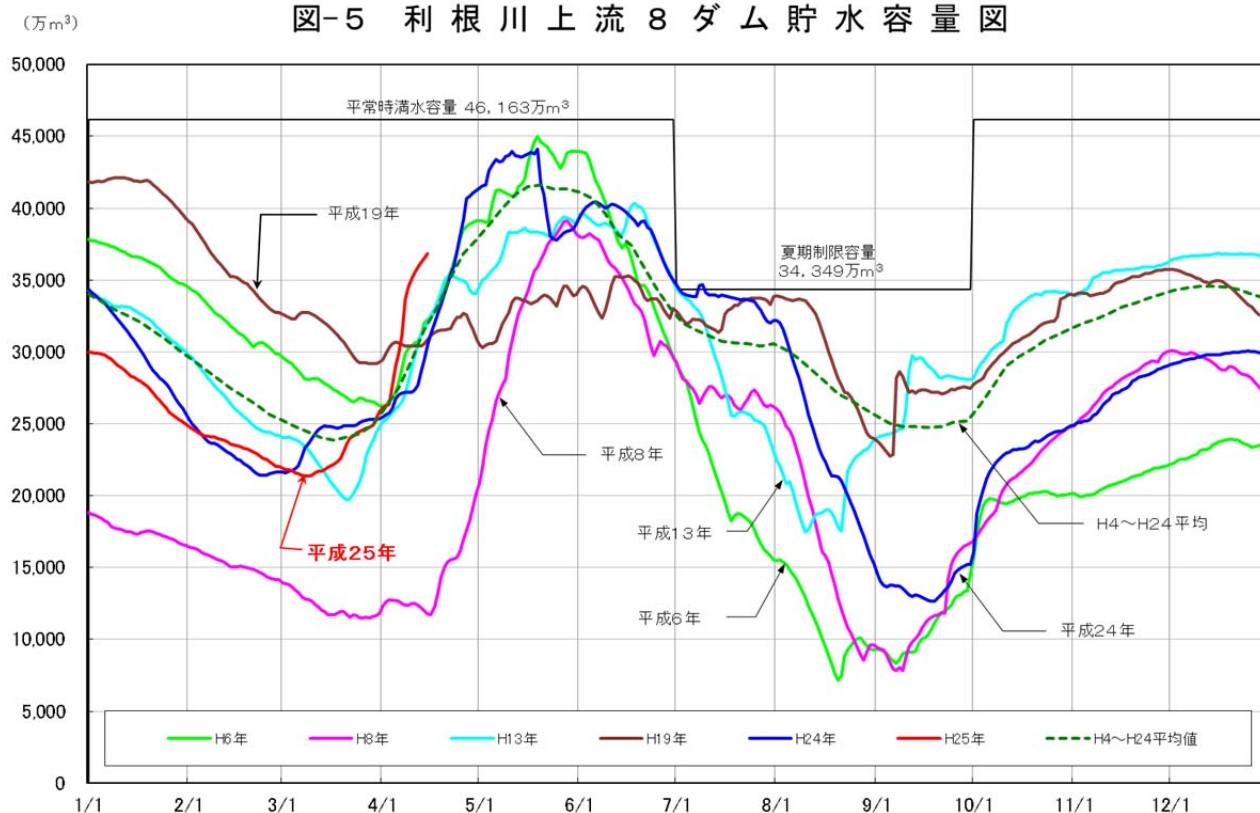
表-3 利根川上流8ダム貯水量

平成25年4月15日0時現在

ダム名	有効容量 (万 m^3)	貯水量 (万 m^3)	貯水率 (%)	前日補給量 (万 m^3 /日)	平年比 (%)
矢木沢ダム	11,550	10,111	88	-206	155
奈良俣ダム	8,500	7,765	91	-73	123
藤原ダム	3,101	2,871	93	1	141
相俣ダム	2,000	1,976	99	-9	127
藺原ダム	1,322	1,083	82	15	119
下久保ダム	12,000	6,836	57	-17	80
草木ダム	5,050	4,904	97	-4	109
渡良瀬貯水池	2,640	1,312	50	-38	82
8ダム合計	46,163	36,858	80	-331	115

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い)

図-5 利根川上流8ダム貯水容量図

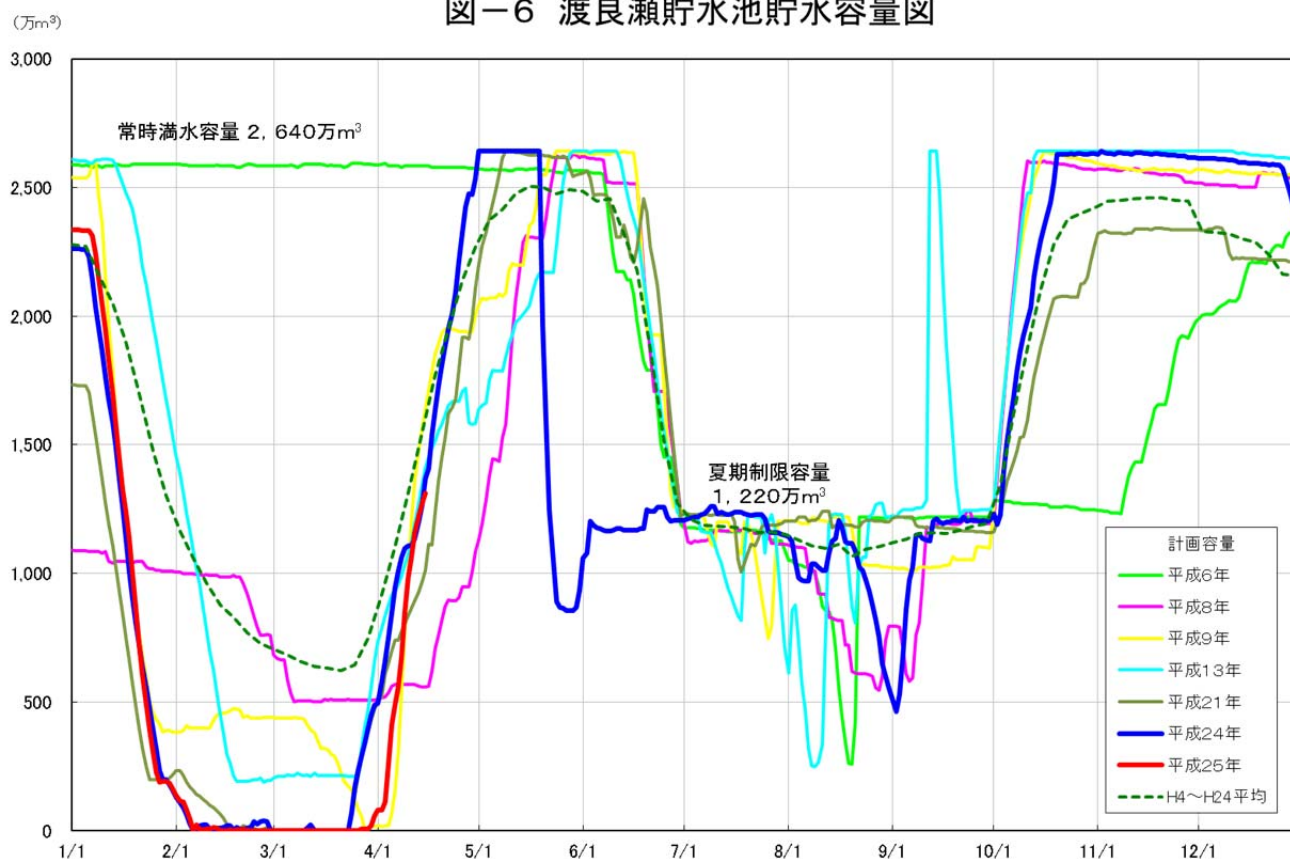


(5) 渡良瀬貯水池の現状

渡良瀬貯水池は水質改善等のため、平成9年から利根川の流況を見ながら「干し上げ」を行っています。今年も1月4日より補給も兼ねつつ水位を下げ、干し上げを実施しました。その後3月25日より貯留し、平成25年4月15日0時現在の貯水量は、1,312万m³、常時満水容量2,640万m³に対して50%、平年の貯水量1,605万m³に対して82%と平年を下回っています。

(図-6参照)

図-6 渡良瀬貯水池貯水容量図



2) 鬼怒川水系

(1) 降水量

平成24年の鬼怒川佐貫上流域の降水量は、かんがい期間である5月(314mm、平年比253%)と6月(276mm、平年比157%)は平年を上回りましたが、8月(109mm、平年比40%)は、平年を下回りました。

平成25年に入り、2月、3月は平年を下回りましたが、4月はすでに平年並の降水量となっています。

4月の月降水量は、14日までで99mmとなっています。(図-7、表-4参照)

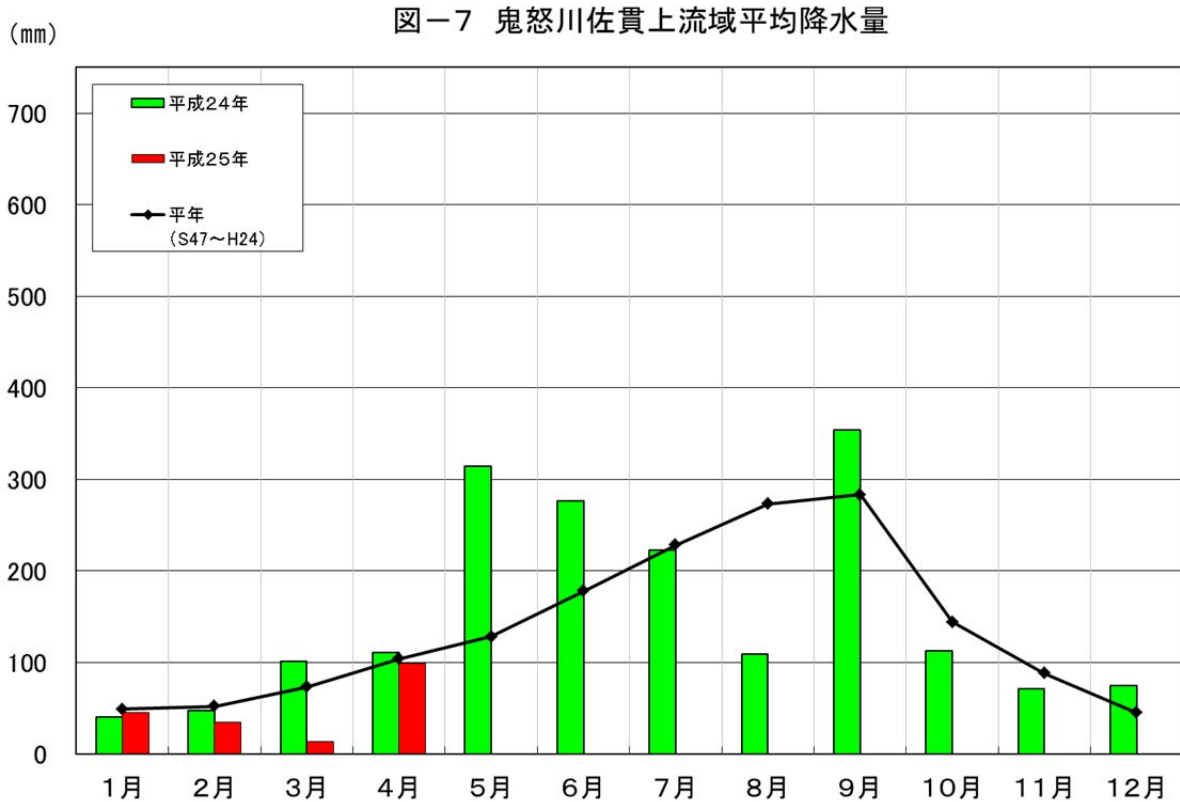


表-4 鬼怒川佐貫上流域平均降水量

単位 (mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘 要
昭和62年	21	34	127	21	121	134	186	156	321	121	38	21	1,301	
平成2年	35	89	79	164	53	111	109	338	394	195	220	66	1,853	
平成6年	15	118	77	21	126	103	159	218	551	122	25	48	1,583	
平成8年	46	69	79	67	113	103	176	109	211	66	65	36	1,140	
平成9年	46	55	74	52	145	272	234	114	274	17	215	27	1,525	
平成13年	56	13	34	13	116	185	147	484	610	225	62	35	1,980	
平成24年	40	47	101	111	314	276	223	109	354	113	71	75	1,833	
平年 (S47-H24)	49	52	73	104	128	178	228	273	283	144	88	45	1,645	
平成25年	45	35	14	99									192	
平年比 (%)	92	67	19	95									12	

平成25年4月14日まで

※. 各月の降水量は端数処理 (小数点第一位を四捨五入) した値

※. 鬼怒川佐貫上流域面積 940 km²

(2) 鬼怒川上流ダム群の貯水状況

平成24年の鬼怒川上流3ダムの貯水量は、5月4日に貯水量1億6,354万 m^3 （貯水率91%、平年比109%）に達しました。その後は下流の水利用等の必要量を確保の為補給を行いました。台風の影響により10月以降は平年を上回る貯水量で推移しました。また、湯西川ダムが平成24年11月29日より運用を開始しました。

平成25年に入ってから、湯西川ダムの運用が開始されたことや融雪水の貯留に努め、4月15日0時現在の貯水量は、1億9,123万 m^3 （常時満水容量に対して76%、平年の貯水量1億5,928万 m^3 に対して120%）となり、平年を上回っています。

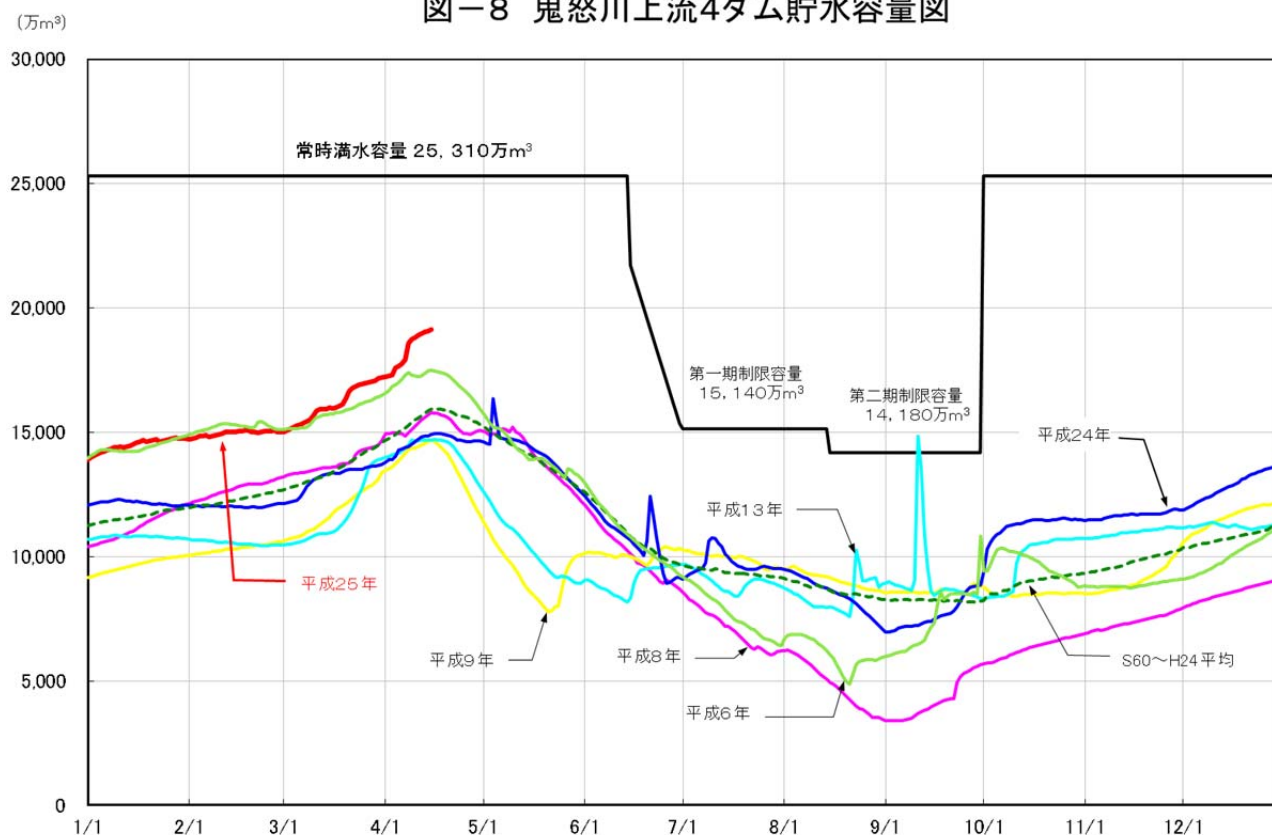
（表－5、図－8参照）

表－5 鬼怒川上流4ダム貯水量

平成25年4月15日0時現在					
ダム名	有効容量 (万 m^3)	貯水量 (万 m^3)	貯水率 (%)	前日補給量 (万 m^3 /日)	平年比 (%)
五十里ダム	3,200	2,834	89	－2	98
川俣ダム	7,310	6,998	96	－8	99
川治ダム	7,600	6,893	91	0	116
湯西川ダム	7,200	2,398	33	－33	－
4ダム合計	25,310	19,123	76	－43	120

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い）
4. 平年比は、五十里、川俣、川治の3ダムの平均貯水量に対する割合。

図－8 鬼怒川上流4ダム貯水容量図



※平成25年1月1日より4ダム合計の貯水容量で表示
（平成24年11月29日より湯西川ダム運用開始）

3) 荒川水系

(1) 降水量

平成24年の荒川秋ヶ瀬上流域の降水量は、ほぼ平年並みとなりましたが、水需要の多くなる5月から9月においては、7月、8月を除き平年を上回る降水量でした。特に5月は平年の約2倍となる257mmの降水量となりました。

また、10月、平成25年2月、3月は平年を下回りましたが、4月はすでに平年を上回る降水量となっています。

4月の降水量は、14日までで125mmとなっています。(図-9、表-6参照)

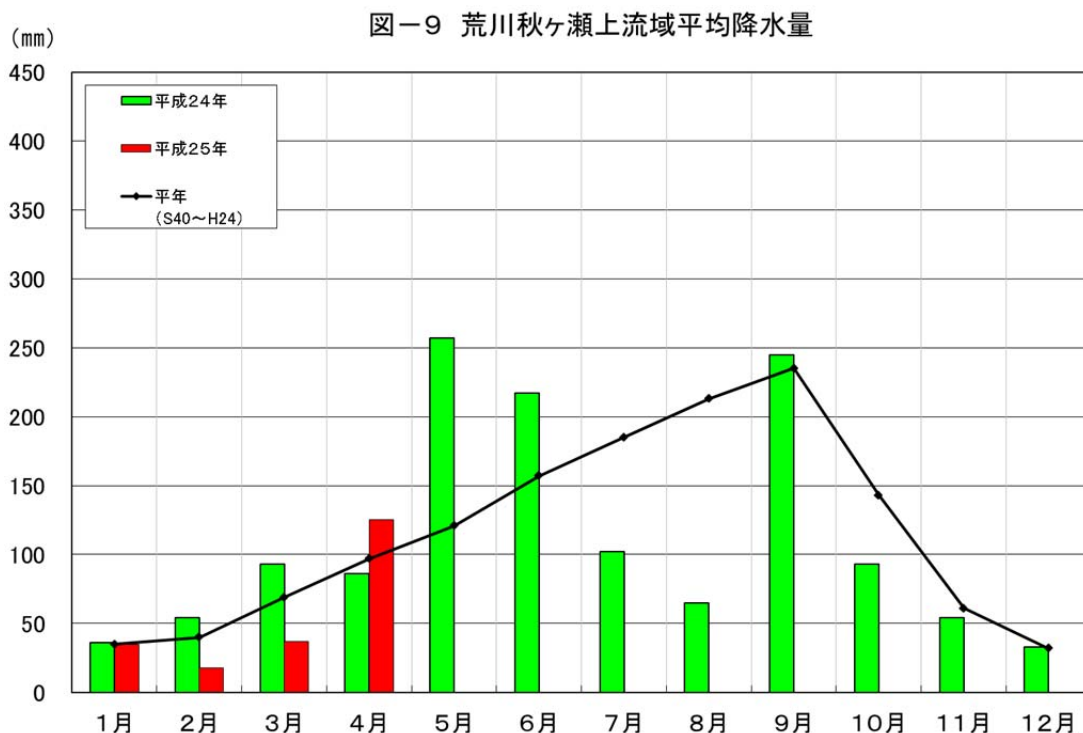


表-6 荒川秋ヶ瀬上流域平均降水量

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏渇水
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657	利根川・荒川夏渇水
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏渇水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏渇水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏渇水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏渇水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏渇水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏渇水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335	利根川夏渇水
平年 (S40~H24)	35	40	69	97	121	157	185	213	235	143	61	32	1,385	
平成25年	35	18	37	125									214	
平年比 (%)	99	45	53	129									15	

平成25年4月14日まで

※. 荒川取水制限実施月（一時緩和含む）

※. 各月の降水量は端数処理（小数点第一位を四捨五入）した値

※. 秋ヶ瀬上流域面積 2,021 km²

(2) 荒川ダム群の貯水状況

平成24年の荒川ダム群（二瀬ダム、滝沢ダム、浦山ダム、荒川調節池）は、5月10日に貯水量1億2,394万 m^3 、常時満水容量に対する貯水率86%に達し、その後、下流に補給を行いました。

7月以降は、夏期制限容量の確保と共に補給を実施し、10月以降は貯留に努めました。少雨や無降雨日の影響から補給・貯留を繰り返す運用となりました。

平成25年4月15日0時現在の貯水量は、8,403万 m^3 （常時満水容量1億4,420万 m^3 に対して58%、平年の貯水量6,539万 m^3 に対して129%）と平年を上回っています。

（表－7、図－10参照）

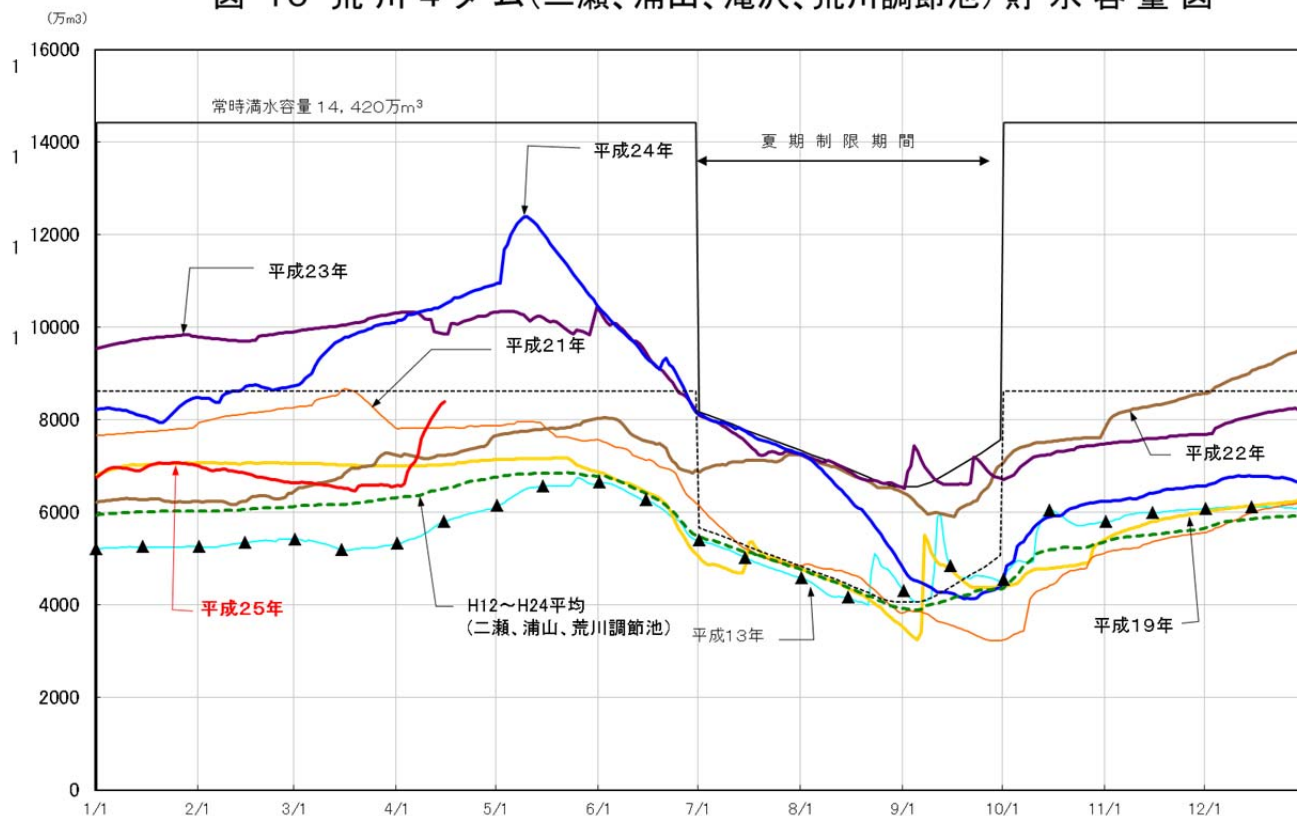
表－7 荒川4ダム貯水量

平成25年 4月15日0時現在

ダム名	有効容量 (万 m^3)	貯水量 (万 m^3)	貯水率 (%)	前日補給量 (万 m^3 /日)	平年比 (%)
二瀬ダム	2,000	1,565	78	－11	104
滝沢ダム	5,800	2,954	51	－13	－
浦山ダム	5,600	3,052	55	－7	75
荒川貯水池	1,020	832	82	－54	87
4ダム合計	14,420	8,403	58	－85	129

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い）
4. 4ダム合計の平年比は、二瀬ダム、浦山ダム、荒川貯水池の平年貯水量の合計に対する割合。

図-10 荒川4ダム(二瀬、浦山、滝沢、荒川調節池)貯水容量図



4) 多摩川水系

(1) 降水量

平成24年の小河内ダム上流域の年間降水量は、1,471mm(平年比91%)となっています。

平成25年に入り、1月の降水量は34mm(平年比78%)、2月に37mm(平年比64%)、3月に55mm(平年比60%)と平年を下回りました。

4月までの累加降水量は、14日までに238mmとなっています。(図-11、表-8参照)

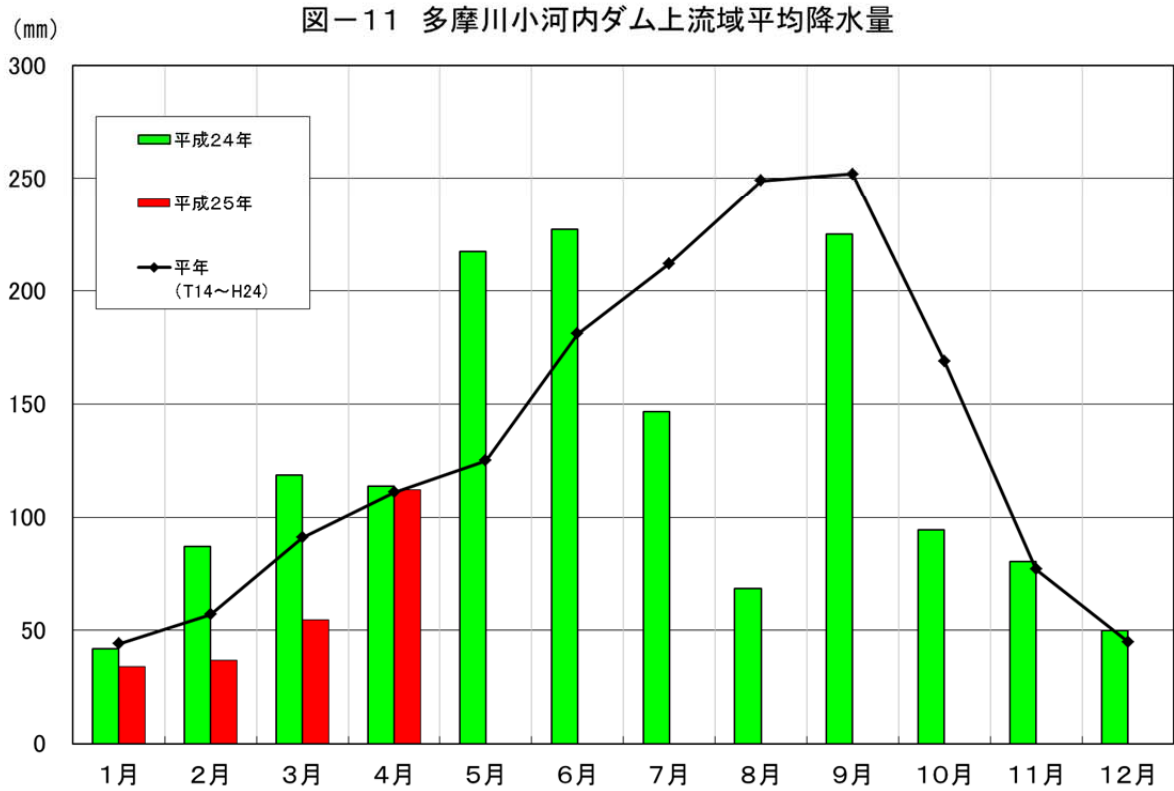


表-8 多摩川小河内ダム上流域降水量

	単位 (mm)												合計	摘要
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
平成24年	42	87	119	114	217	227	147	69	225	94	80	50	1,471	
平年 (T14~H24)	44	57	91	111	125	181	212	249	252	169	77	45	1,613	
平成25年	34	37	55	112									238	
平年比 (%)	78	64	60	101									15	

平成25年4月14日まで

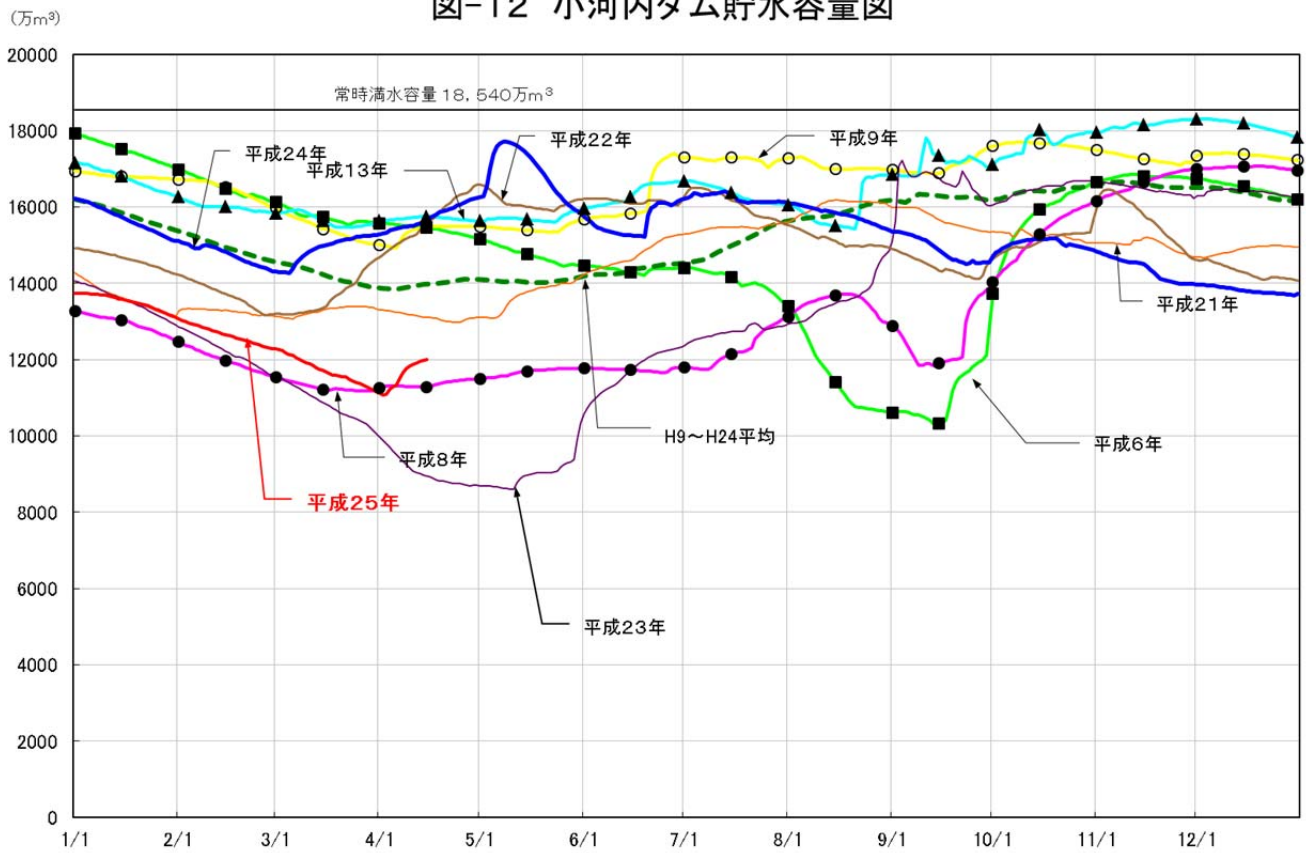
※. 端数処理の関係で、各月の和と合計値は一致しないことがあります。

※. 小河内上流域面積 262 km²

(2) 小河内ダムの貯水状況

4月15日7時現在の貯水量は、1億2,008万 m^3 、貯水率65%、平年比89%で平年を下回っています。(図-12参照)

図-12 小河内ダム貯水容量図



2. 今後の見通し及び対策

(1) 見通し

- ①. 平成25年4月12日発表の気象庁の1か月予報によると、4月13日から5月12日の関東甲信地方の降水量については、「平年並または少ない」となっており、3月25日発表の気象庁の3か月予報によると、降水量は、5月、6月は「平年並」となっています。

1か月予報（平成25年4月12日発表）

【気温】 関東甲信地方	40	40	20
【降水量】 関東甲信地方	40	40	20
【日照時間】 関東甲信地方	30	40	30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3か月予報（平成25年3月25日発表）

[関東甲信地方]			
3か月	30	40	30
4月	30	40	30
5月	30	40	30
6月	30	40	30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

- ②. 利根川上流5ダム（矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、菌原）は、毎年4月から5月にかけて、融雪水により貯水量を大きく回復する時期となっており、例年では4月の中旬から5月にほぼ満水となります。現在、融雪水等の貯留に努めており、平年並みのダム流入量であれば、5ダムにおいては満水まで回復が予想されます。融雪水の少ない下久保ダムにおいては、下流の河川の必要量を確保しつつ、極力貯留に努めます。

しかし、今後は水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、利根川上流8ダムの貯水量が不足することも想定されます。

- ③. 鬼怒川上流4ダムの貯水量は平年を上回る貯水量となっており、今後下流の農業用水等水需要に対して必要な水量を確保するためダムからの補給を行っていきませんが、降雨状況によっては、貯水量が不足することも考えられます。

(2) 対策

- ① [利根川水系における上流ダム群の貯水量の確保]

今後、本年の利根川上流域の融雪状況や降雨、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮して、既存施設等を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。

また、上流ダム群の貯水量の状況や積雪状況等の情報提供を引き続き行っていきます。

- ② [利根川水系渇水対策連絡協議会の取り組み]

利根川水系渇水対策連絡協議会としては、首都圏の水需要をかんがみ、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的な対応を行っていきます。

3. 非洪水期における工事制限水位等について

H25.4月現在

工事主体	ダム名	工事名	工事概要等	工事期間											
				平成25年						平成26年					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利根川ダム統管	藤原ダム	藤原ダムクレストゲート開閉装置他修繕工事	クレストゲート水密ゴム交換 クレストゲート開閉装置修繕	工期 24年8月3日											3月14日
		制限貯水位 EL638.0m 制限期間	平成25年10月1日から平成26年3月下旬												
		相俣ダム管内土砂搬出その他工事	土砂搬出 遊歩道下部既設護岸補修 遮水壁垂直継手部補修	工期 25年3月29日											
	相俣ダム	制限貯水位 EL550.0m 制限期間	平成25年10月1日から平成25年12月下旬												
藤原ダム	蘭原ダム	蘭原ダム堆積土砂掘削工事 (仮称)	土砂搬出												
		制限貯水位 EL547.0m 制限期間	平成25年10月1日から平成26年3月下旬												
		非常用放流設備(クレストゲート)整備工事	ワイヤロープ更新 扉体付きシーブ分解整備 底部水密ゴム取替												
草木ダム管理所	草木ダム	制限貯水位 EL439.5m 制限期間	平成25年10月1日から平成25年11月中旬												

制限水位 工期